

2024年もよろしくお願ひします

2024年が始まりました。竜門小学校のシンボルである龍(辰)の年ということで、年始をワクワクとした期待いっぱい迎えるはずでした。しかし、元旦には石川県を中心とした能登半島大地震が発生し、また、2日には航空機の衝突という大きな事故も起こりました。被災地では、今なお多くの方が悲しい、つらい思いを抱えて毎日を過ごしています。ニュースで流れる映像に恐怖を感じたり、胸を痛めている児童もいたことでしょう。

今、私たちに出来ることは、いつか来るかもしれない災害にきちんと備えること、かけがえのない毎日を精一杯生きることです。学校では、これまで以上に、避難訓練や防災教育に力を入れ、自分の命を守るための知恵や知識を学習し、災害を生き抜く力を育てていきたいと考えています。各ご家庭においても、災害時の行動や避難場所の確認など、いざという時に必要な約束事などを子ども達とお話いただけますようお願いいたします。

さて、そんな中で迎えた3学期の始まりですが、子ども達が登校すると、元気で朗らかな声が校内に響き渡り、一気に校舎全体が明るく暖かくなりました。今年も子ども達とともに、教職員一同力を合わせて、学校教育目標である「美しい自然と豊かな文化に恵まれた竜門の大地を愛し、自ら学び自ら考え、行動する子どもの育成」に向け、子ども達の笑顔あふれる、安心して通える学校づくりを目指してまいります。保護者の皆様にはこれまで通り、本校教育に力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



本校HPをぜひご覧ください⇒

2月行事予定⇒



しめ縄作り

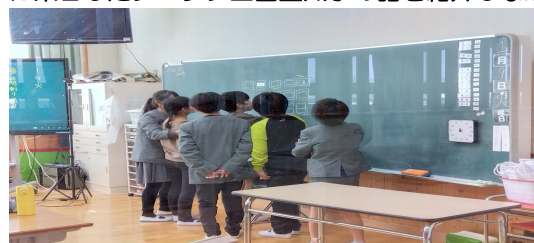


先月号には記載することが出来ませんでした。年末には新年を祝うためのしめ縄作りを行いました。対象学年は3年生・5年生です。5年生は縄をなうところからの作業だったため、かなり苦戦している様子でしたが、楽しそうに取り組んでいました。今回もボランティアさんがたくさん来て下さり、子ども達に丁寧に教えてくれました。いつも本当にありがとうございます。しめ縄を飾る理由なども教えていただき、日本の伝統に触れることも出来ました。先生方の方でもご準備いただき、職員室でもしめ縄作りを教えあい、楽しいひとときが過ごせました。感謝申し上げます。



3学期始業式

始業式は寒さ・感染症対策でオンラインで行いました。画面越しに新年の挨拶を交わし、各教室で校歌を歌いました。元旦の大地震という日本中を震撼させる災害がありましたが、こども達の元気な様子や笑顔に癒やされながら、新しい1年のスタートを切りました。竜門小学校のシンボルである龍の一年の始まりに、2011年



に来日したブータン王国皇太子の話を紹介しながら、「自分の中の龍を強くたくましく育てよう」と子ども達に伝えました。続いて生徒指導の先生からは、登下校の際には、「みんなで仲良く楽しく」を心がけて、一人ひとりが思いやりを持ちましようとお話がありました。その後の学活では、宿題を提出したり、冬休みの話を伝え合ったり、久々の学校を楽しんでくれている様子が見られました。今年も竜門小学校の子ども達はとても元気です！

ブロッコリー収穫

年末から収穫の時を持っていたブロッコリー。ようやく大きく成長し、12日に2年生と5年生で収穫を行いました。今回ももちろん農園ボランティアの井上さんにいろいろ学びながらの収穫です。いつも、それぞれの農作物の特徴や産地、美味しい食べ方などを詳しく教えていただいています。たくさんのブロッコリーは全学年で持ち帰りました。茎まで美味しいブロッコリーです。また、図工の授業等にも使わせていただいています。

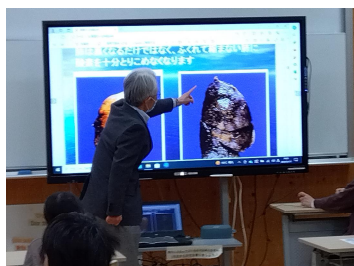


野球しようぜ！

日本が誇る大リーグ野球選手大谷翔平さんが日本全国の小学校に贈ってくれた野球のグローブ。紀の川市にも届きました。みんな大喜びです。各学年で披露した後は、自由に使えるように生徒玄関のガラスケースのなかに置いています。早速、休み時間に借りに来た子どもたちもいました。大谷翔平選手の温かい思いやり、そして熱い思いが子どもたちの心にしっかりと届いています。

書き初め競書会(全学年)

今、本番を迎えている書き初め競書会。冬休みの間もご家庭で練習に協力いただき、ありがとうございました。どの学年の子どもたちも真剣に、お手本にとらめっこして頑張っています。今週中に清書を書き終える予定です。練習の成果を発揮して、自分が満足できる字が書けるといいですね！



喫煙防止教室(5・6年)

17日には学校医の先生を講師にお招きして、5・6年生を対象に喫煙防止教室を実施しました。喫煙による身体へ影響や、副流煙について学びました。タバコはニコチン中毒を引き起こすので、「最初の1本をやめる、誘われても断る」そんな気持ちを大事にしてくださいと教えてくださいました。お家でもぜひ話し合ってください。